

セナルモン法

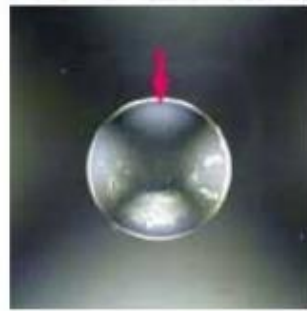
対象機種：LSM-1000LE、LSM-4401LE、
LSM-4411LE、LSM-7000LE、LSM-8400LE



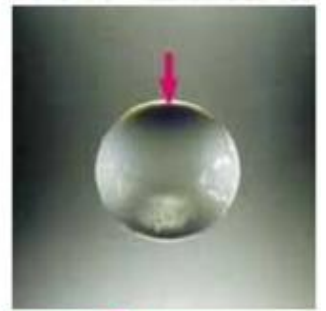
セナルモン法は歪み定量測定を行うための検査法です。アナライザーの角度スケールを 0 度に合わせると、視野全体が暗く黒色に見えます。観察物を入れ回転させながら歪を定量したい部分が最も明るく見える位置を探し固定します。次に、アナライザー回転フレームをゆっくり回転させ最も暗くなった位置で角度を読み取ります。回転角度を計算式に当てはめ歪量を求めます。尚、商品には早見表を用意しておりますので計算は不要です。

観察例

アナライザー回転角度 0 度



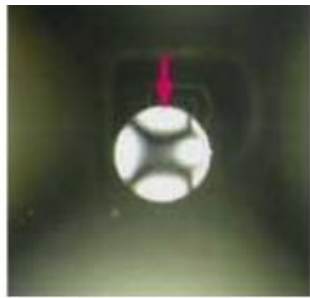
アナライザー回転角度 7 度



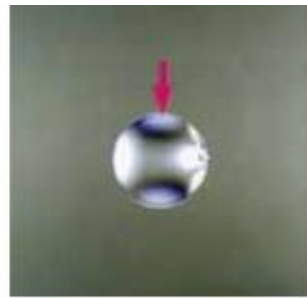
アナライザー角度スケール 7 度



アナライザー回転角度 0 度



アナライザー回転角度 11 度



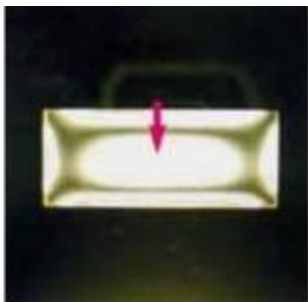
アナライザー回転角度 28 度



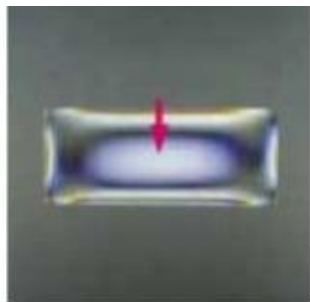
アナライザー角度スケール 28 度



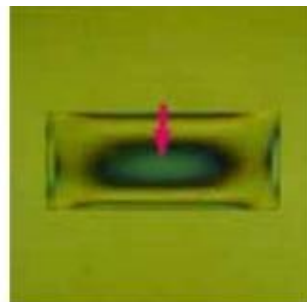
アナライザー回転角度 0 度



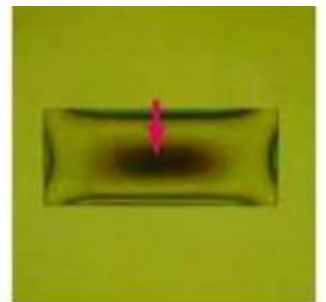
アナライザー回転角度 20 度



アナライザー回転角度 35 度



アナライザー回転角度 89 度



アナライザー角度スケール 89 度

